

小松節子の ハートフル メッセージ



アセアン駐日大使歓迎交流会開催

8月7日、リーガロイヤルホテル広島でASEAN(東南アジア諸国連合)の駐日大使をお招きし、広島アセアン協会主催『アセアン駐日大使御一行様歓迎交流会』を開催しました。アセアン11カ国の大使御一行様、県内の大学に留学されているアセアン諸国の学生の皆さん、広島の政財界のトップの方、200人以上の方がご参加くださいました。

同日、午前中に開かれたアセアン駐日大使会議(ACCT Meeting)終了後、広島平和記念資料館館長、石田芳文様を講師にお迎えし『被爆した東南アジアの留学生―国を超えた友情―』と題した記念講演を行っています。

ただきました。正午から歓迎交流会が開催されました。開催に先立ってのあいさつは『平和』がキーワードになりました。会長あいさつで被爆者だった私の母親から『戦争は絶対にしてはいけない』と聞かされて育ったことを紹介しました。ACCT議長国、シンガポールのオン・エンチュアン特命全権大使は、1977年に当時の福田赳夫首相が示した『福田ドクトリン』に触れられ、『アセアンと日本が対等なパートナーとして歩むことを柱とした福田ドクトリンは、現在までアセアンと日本の友好関係の礎になっている』と話されました。

歓談の間には、広島大

学元学長・世界最高齢のテノール歌手としてギネス登録されている原田康夫先生の独唱や、全日本少林寺流空手道連盟練心館広島地区本部所属の小学生と高校生の2名による演武、広島警察音楽隊『ザ・メイプルウィンズ』の演奏で大いに盛り上がりしました。留学生にとっては、母国の大使と交流できる貴重な機会になりました。

歓迎交流会は2023年に続いて2回目の開催となりました。毎年開催を希望されるお声もいただいております。今後は8月6日前後に恒例行事として行うことで、平和を軸とした広島とアセアンの心の交流を深めていきたいと思っています。(メンテックワールド社長)



歓迎交流会でアセアンつなぎをする各国の大使(右から4人目が筆者)